

2000年4月6日

県民意識調査 「森内閣発足」 報告書

(2000年4月5日～6日電話調査)

調査の設計	1
概要	3
単純集計	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

I 調査の設計

◆調査の目的

衆議院の解散・総選挙、沖縄サミットなど内外の重要政治課題を控える渦中で、小渕恵三首相が緊急入院し、再起が遠く病状として、前自民党幹事長の森喜朗氏に急きょ政権が引き継がれた。新政権は、北海道・有珠山噴火の対策に取り組みつつ、景気回復の足取りと世論の動向を見守り、総選挙のタイミングを判断していくことになる。

こうした政局緊迫化をどのように捉え、どのような期待感をもって見つめているのか、総選挙をにらんだ内閣支持や政党支持を軸に、突然の入院で“首相不在”という事態が生じ、国民に対する公表も遅れた危機管理上の疑問点も併せて、緊急調査で県民の反応を探る。

◆調査の設計

▽調査対象 長野県下の長野、松本、上田、諏訪、飯田の5都市に住む20歳以上の男女500人

▽抽出方法 県下を東北中南の4地区に分け、さらに5つの衆院選小選挙区の代表的な5都市に、対象となる全体数500人を人口比率で割り振り、各市ごとに20～60代以上の5つの年代層・性に比例配分して対象者数を設定。NTTの電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の1人を選んだ。

▽調査方法 電話

▽調査期間 2000年4月5日～6日

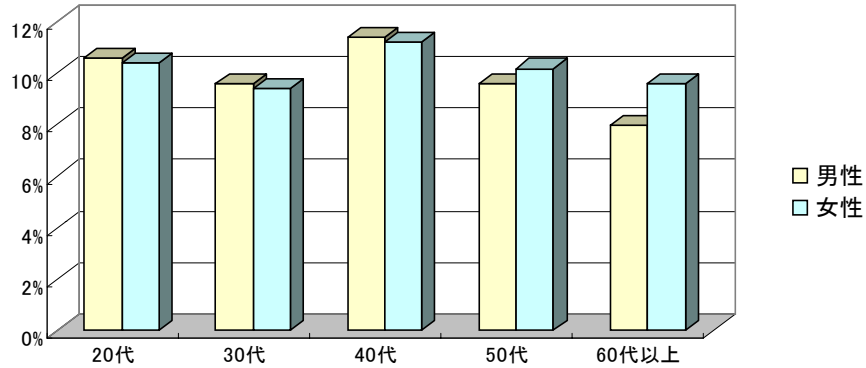
▽調査地点 長野、松本、上田、諏訪、飯田の5都市

◆回収結果 各市とも年代・性の人数に達するまで抽出を繰り返したので、回答数は対象者数と同じ500。

◆サンプルの内訳

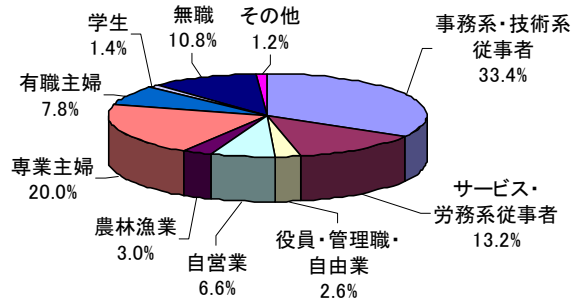
<性別と年代>

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	246	53	48	57	48	40
	49.2%	10.6%	9.6%	11.4%	9.6%	8.0%
女性	254	52	47	56	51	48
	50.8%	10.4%	9.4%	11.2%	10.2%	9.6%



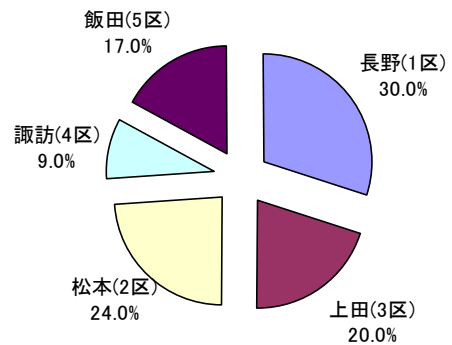
<職業>

事務系・技術系従事者	167	33.4%
サービス・労務系従事者	66	13.2%
役員・管理職・自由業	13	2.6%
自営業	33	6.6%
農林漁業	15	3.0%
専業主婦	100	20.0%
有職主婦	39	7.8%
学生	7	1.4%
無職	54	10.8%
その他	6	1.2%



<都市別>

長野(1区)	150	30.0%
上田(3区)	100	20.0%
松本(2区)	120	24.0%
諏訪(4区)	45	9.0%
飯田(5区)	85	17.0%



II 概要

＜内閣支持＞ 緊急事態の中で発足した森喜朗内閣は支持約5割、不支持3割強に色分けされた。前回参院選の自民敗北による橋本首相の退陣を受けて登場した小渕内閣(98年7月)よりは十数ポイント高いが、それ以前の羽田内閣(94年4月)、橋本内閣(96年1月)よりは、かなり落ち込んでいる。

＜自公保連立＞ 連立離脱の自由党から分かれた保守党が残った“自民党・公明党・保守党連立”に対する評価は「期待」が3割を超えたものの「期待しない」が6割半ばにのぼり、自自公連立に対する冷ややかさは和らいではない。

＜最優先課題＞ 新内閣に最優先で望む課題は「景気・雇用」が5割に迫るトップ項目に掲げられ、次いでスタートしたばかりの介護保険制度に絡む「福祉・年金」、三番手には「財政・行政」が続いた。

＜政党支持＞ 解散・総選挙の日程に加えて、突然の政権交代が絡んだ微妙な政治情勢下で、政党支持は自民党 26.2%でトップ、2位の民主党は 17.4%と2割に届かなかった。両党の8.8ポイント差は前回と同じ。3位には共産党が食い込み、以下公明党、社民党。自由党は連立離脱をめぐって“分党”の保守党を上回った。「支持政党なし」は4割を超えたが、前回から横ばいだった。

＜総選挙＞ 注目の解散・総選挙の時期は、判断の軸となる沖縄サミットを境に「開催の後に」が5割半ば、「開催の前に」が4割。“前倒し”に傾いているとされる政府・与党の動きと対照的に「急ぐ必要はない」といった判断が優勢だ。しかも政権の主軸である自民党の議席の増減に対する期待感では「減ってほしい」という声が「今の程度でよい」をやや上回り「増えてほしい」にはかなりの差が生じた。

＜危機管理＞ 今回の現役首相の緊急入院に際して「最高権力者の不在」といった事態が生じ、国民に対する情報開示も遅れたが、6割半ばは「問題はあるが、結果として仕方がなかった」と“追認”が大勢を占めた。一方で、2割強の人が「首相の職務上、問題がある」と重く受けとめている。

Ⅲ 単純集計

新内閣の支持約 5 割 不支持は 3 割強

問1 新たに発足した森内閣を支持しますか。(S A)		
支持する	246	49.2%
支持しない	160	32.0%
なんともいえない	94	18.8%

最優先課題 - 「景気・雇用」他を引き離す

問2 森内閣に最優先で取り組んでほしい政策の分野は何ですか。(S A)		
景気・雇用	237	47.4%
福祉・年金	151	30.2%
財政・行政	71	14.2%
教育・文化	30	6.0%
外交・安全保障	8	1.6%
とくにない・わからない	3	0.6%

「自公保連立」に期待 3 割強 「期待せず」 6 割半ば

問3 自由党が内閣から離脱した「自民党・公明党・保守党の連立政権」について、どう思いますか。(S A)		
かなり期待する	29	5.8%
どちらかといえば期待する	133	26.6%
どちらかといえば期待しない	178	35.6%
ほとんど期待しない	155	31.0%
なんともいえない	5	1.0%

解散・総選挙の時期「サミットの後に」優勢

問4 衆議院の解散・総選挙の時期はいつがよいと思いますか。(S A)		
7月の沖縄サミット開催の前に	200	40.0%
7月の沖縄サミットを終えてから	280	56.0%
なんともいえない・わからない	20	4.0%

総選挙で「自民党増えてほしい」1割半ば

問5 次の衆議院選挙で自民党の議席が増えてほしいですか、減ってほしいですか。(SA)		
増えてほしい	79	15.8%
減ってほしい	213	42.6%
今の程度でよい	190	38.0%
なんともいえない	18	3.6%

政党支持 - トップ自民 26.2% 民主に 8.8ポイント差

問6 どの政党を支持しますか。(SA)		
自民党	131	26.2%
民主党	87	17.4%
共産党	22	4.4%
公明党	17	3.4%
社民党	12	2.4%
自由党	10	2.0%
保守党	1	0.2%
その他	5	1.0%
支持する政党はない	212	42.4%
言いたくない	3	0.6%

首相不在・公表遅れ「仕方がなかった」大勢

問7 小淵首相の緊急入院をめぐり、半日間の「首相不在」の事態が生じ、公表が遅れたことについて、どう思いますか。(SA)		
首相の職務上、問題がある	113	22.6%
問題はあるが、結果として仕方がなかった	334	66.8%
ほとんど問題はない	48	9.6%
なんともいえない・わからない	5	1.0%